様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	大分保育専門学校
設置者名	学校法人 後藤学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	保育学科	夜・通信	1,110 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校のホームページ（http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	大分保育専門学校
設置者名	学校法人 後藤学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	卒業生 会計事務所勤務（前職）	2020年4月1日から2024年3月31日	専門的な実も経験から財務及び経営協力への助言
非常勤	僧侶	2020年4月1日から2024年3月31日	学校法人の運営に関する助言
非常勤	無職（主婦）	2020年4月1日から2024年3月31日	専門的な実務経験から幼児教育の強化に関する助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大分保育専門学校
設置者名	学校法人 後藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

各科目の授業計画書（シラバス）は本校所定の様式を整備している。記載項目としては、開講年度、科目名、担当者名（実務経験者の表示を含む)、単位数・時間数、授業形態の外、次の項目を設定している。

科目区分（専門科目と教養科目の別、必修と選択必修の別、実施学年・学期など)、授業の概要、授業の到達目標、授業の計画及び内容、成績評価の方法と基準、授業で使用するテキスト、参考書など

授業計画書（シラバス）の作成は、主となる授業担当者が作成することとしている。学校は、前期、後期ごとに「(年度・期別表示）シラバス」として整理し、各学期開始前に学生全員に配布している。

「実務経験のある教員等による授業科目」については、省令で定める基準授業時数を満たしている。

なお、成績評価の基準については、別途「教務に関する規則」で定め公表している。

授業計画書の公表方法	http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の学修成果の評価方法については、学校として、「学則」及び「教務に関する規則」として定めている。その概要は以下のとおりである。

両規則は「学生便覧」に掲載し、入学時に全学生に配布している。

１ 各科目単位の修得の認定は出席状況、学習成績、課題レポート等を資料として認定する。

２ 前学期・後学期の定期学力考査又は技術考査を行う。

３ 忌引、病欠等で定期考査を受験できなかった者は追試験を受験できる。定期査又は追試験で不合格科目があった者は、再試験を受験できる。

４ 科目の認定は、100 点法で 60 点以上でなければならない。

５ 評定は次の表による。

評価点／試験区分	定期考査	追試験	再試験
８０点以上	A	A	C
７０点以上８０点未満	B	B	C
６０点以上７０点未満	C	C	C
６０点未満	D	D	D

６ 評定はA，B，Cを合格、Dを不合格とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
学修状況を表す客観的な指標として、各科目の成績評価に応じて数値（グレードポイント）を設定している。

１　グレードポイントの設定
(1) ４段階の評定Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄに対して、それぞれ 5.0、3.0、1.0、0 の数値を設定する。
(2)受講を途中でやめたり、不合格となった科目は成績評価を 0 点とする。

２　学生ごとの総合評価平均値（GEA）の計算方法
各履修科目のグレードポイントに科目の単位数を乗じた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で除した値を総合評価平均値（GEA）とする。

３　総合評価平均値（GEA）の判定基準と学習支援
(1) 個々の学生の学修状況を客観的に示す指標として、学生の学習支援に活用する。
(2) 総合評価平均値（GEA）は年度末に算出し、試験結果通知に記載する等により学生と共有する。
(3) 年度末の総合評価平均値（GEA）により学生に対し、次のような措置を行う。
・総合評価平均値（GEA）は 0.4 ポイントごとに区切るものとする。
・2.2 以上 2.5 以下　注意　本人との面談を実施する。
・1.8 以上 2.1 以下　警告　本人・保護者との面談を実施する。
・1.7 以下　急警告　緊急に本人・保護者との面談を実施する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
卒業認定に関する規定は、「学則」及び「教務に関する規則」で定めており、所定の修業年限以上在学すること、本校所定の教育課程を履修し、その全科目の単位を修得していること等と定めている。
また、これらの規定とは別に、ディプロマポリシー（卒業認定の方針）を定めている。この方針では、保育・幼児教育に関する専門的知識と実践的技能、及び子どもの最善の利益を尊重しながら、専門性の向上に努めようとする意欲を身につけている等としている。
これらの「学則」及び「教務に関する規則」の規定並びにディプロマポリシー（卒業認定の方針）に則り、要件を満たしている者に対して、卒業判定会議での審議を経て、学校長が卒業を認定し、「専門士」の称号を授与することとしている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	大分保育専門学校
設置者名	学校法人 後藤学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494
収支計算書又は損益計算書	http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494
財産目録	http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494
事業報告書	http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494
監事による監査報告（書）	http://www.gotogakuen.ac.jp/copy-494

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	専門	保育学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1950 単位時間／78 単位	510 単位時間/33 単位	1140 単位時間/38 単位	270 単位時間/6 単位	0 単位時間/0 単位	30 単位時間/1 単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１００人	３３人	０人	６人	１８人	２４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目の授業計画書（シラバス）は本校所定の様式を整備している。記載項目としては、開講年度、科目名、担当者名（実務経験者の表示を含む）、単位数・時間数、授業形態の外、次の項目を設定している。 科目区分（専門科目と教養科目の別、必修と選択必修の別、実施学年・学期など）、 授業の概要、授業の到達目標、授業の計画及び内容、成績評価の方法と基準、授業で使用するテキスト、参考書など 授業計画書（シラバス）の作成は、主となる授業担当者が作成することとしている。 学校は、前期、後期ごとに「（年度・期別表示）シラバス」として整理し、各学期開始前に学生全員に配布している。 「実務経験のある教員等による授業科目」については、省令で定める基準授業時数を満たしている。 なお、成績評価の基準については、別途「教務に関する規則」で定め公表している。
成績評価の基準・方法

（概要）

授業科目の学修成果の評価方法については、学校として、「学則」及び「教務に関する規則」として定めている。その概要は以下のとおりである。

両規則は「学生便覧」に掲載し、入学時に全学生に配布している。

1　各科目単位の修得の認定は出席状況、学習成績、課題レポート等を資料として認定する。

2　前学期・後学期の定期学力考査又は技術考査を行う。

3　忌引、病欠等で定期考査を受験できなかった者は追試験を受験できる。定期査又は追試験で不合格科目があった者は、再試験を受験できる。

4　科目の認定は、100 点法で 60 点以上でなければならない。

5　評定は次の表による。

評価点／試験区分	定期考査	追試験	再試験
８０点以上	A	A	C
７０点以上８０点未満	B	B	C
６０点以上７０点未満	C	C	C
６０点未満	D	D	D

6　評定はA，B，Cを合格、Dを不合格とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業認定及び進級認定に関する規定は、「学則」及び「教務に関する規則」により定めている。

本校学則に定められた教育課程すべての科目の単位を修得し、また、所定の修業年限以上の在学期間、出席日数を満たした者が卒業要件を有することができる。

単位修得については、科目ごとに厳格、適正に成績評価を行い、単位修得を認定している。その上で、進級判定会議での審議を経て、進級認定を行っている。

卒業認定については、上記に加え、本校が定める「豊かな人間性と礼儀・感謝・奉仕の精神、保育の専門職としての誇りと使命感を持ち、『やめない』保育士として地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成する。」という教育目標に添って、ディプロマポリシーに定める人間性、知識・技能、意欲等の資質や実践的職業能力を修得することが求められる。

これらの要件を満たした者に対して、卒業判定会議での審議を経て、学校長が卒業を認定し、「専門士」の称号を授与する。

学修支援等

（概要）

本校では、学生の日々の出席状況、健康状況、授業態度、友人関係、家庭環境を把握し、個々の状況に配慮した学修支援として、以下のような取組を行っている。

1　新入生及び在校生を対象に、入学後、又は新学期開始後、１か月程度を目途に学級担任による面談を実施する。

2　毎日、朝のホームルーム、授業終了後のホームルームを実施し、学生の出席状況、体調把握を行う。遅刻や欠席の場合は必ず朝の連絡を課しており、欠席が続く場合には、保護者連絡をとり状況確認を行う。

3　授業担当教員や他学年の学級担任との間で情報共有を図り、学生の授業態度や表情など、気になる学生には、適宜学級担任の面談や、授業担当教員からの声掛けを行う。

4　定期考査前には、気になる学生の学習状況を確認するとともに、資格取得への意欲を喚起するなど励ます。

5　定期考査結果によっては、学生との個別面談、あるいは保護者を加えての３者面

談を実施し、学習への取り組みの改善を促す。
6　入学者全員の２年間での学修による卒業を前提に指導するが、やむを得ず留年や退学の選択を行う場合には、３者面談を実施し、本人、保護者の納得の上で行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１０人 (100%)	０人 （　0%）	９人 （９０%）	１人 （　１０%）

（主な就職、業界等）
主な就職先は、県内の保育所、及び認定こども園である。令和２年度は、卒業生１０名のうち、５名が保育所、４名が認定こども園に就職した。具体的な就職先（５施設抜粋）は次のとおりである。
（大分市）友愛会 東舞鶴保育園、立山学園 みんなの森こども園、
森友会 こころの森こども園、日吉会 明野台こども園
（豊後大野市）野の花会 扇田保育園

（就職指導内容）
本校では、就職活動に係る内容や手続き等をまとめた「就職ガイダンス資料」を作成し、個々の学生が就職への流れを自分で確認することができるよう、配布している。
１年生には、就職ガイダンスを５月に実施し、「就職ガイダンス資料」を用いて、就職活動や保育士資格取得等、在籍する２年間を見通して就職への取組について丁寧に説明を行っている。また、４月～５月中に学級担任による個別面談を実施し、就職希望について把握し、以後の指導に活用している。
２年生には、就職ガイダンスを４月に実施し、「履歴書」の書き方、「採用試験」「面接試験」の手順等について具体的に説明している。
また、本校では卒業生から、就職に係る面接問題や専門科目及び一般常識の試験問題をとりまとめた在校生への助言資料を作成しており、２年生の就職試験直前のガイダンスで活用している。また、進路担当者及び学級担任による個人面談を７月中に実施し、就職希望先等を把握している。
就職が内定してない学生に対しては、就職先が決定するまで、個人面談を繰り返し実施するよう、丁寧な支援に努めている。

（主な学修成果（資格・検定等））
保育士資格取得（国家資格）１０名（令和２年度卒業生全員）

（備考）（任意記載事項）
求人数について
令和２年度、本校に届いた保育士求人件数は２００件（うち、県内保育所等からの求人件数は５３件）であった。
令和元年度は１９４件（うち、県内保育所等からの求人件数は５２件）であった。

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３２人	０人	０%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
中途退学の多くは、志望動機の希薄さや、学習習慣が十分身に付いていないことによる学習成績の不振、あるいは、持病等による体調不良などから、学習成績の不振を来すことによる。そのため、本校では学生の学習についての悩みや、友人関係等に留意しつつ、学業に円滑に取り組むことができるよう、以下のような取組を行っている。

1　新入生及び在校生を対象に、入学後、又は新学期開始後、１か月程度を目途に学級担任による面談を実施する。

2　毎日、朝のホームルーム、授業終了後のホームルームを実施し、学生の出席状況、体調把握を行う。遅刻や欠席の場合は必ず朝の連絡を課しており、欠席が続く場合には、担任から学生本人に連絡をとり状況確認を行う。

3　授業担当教員や他学年の学級担任との間で情報共有を図り、学生の授業態度や表情など、気になる学生には、適宜学級担任の面談や、授業担当教員からの声掛けを行う。

4　定期考査前には、気になる学生の学習状況を確認するとともに、資格取得への意欲を喚起するなど励ます。

5　定期考査結果によっては、学生との個別面談、あるいは保護者を加えての３者面談を実施し、学習への取り組みの改善を促す。

6　入学者全員の２年間での学修による卒業を前提に指導するが、やむを得ず留年や退学の選択を行う場合には、３者面談を実施し、本人、保護者の納得の上で行う。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
保育学科	150,000 円	500,000 円	300,000 円	その他欄は施設設備費と実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	

修学支援（任意記載事項）

1　幼稚園教諭免許状取得希望者への学園給付奨学金
幼稚園教諭免許状取得のため、聖徳大学短期大学部または近畿大学九州短期大学の通信教育を希望する学生全員に学園給付奨学金をそれぞれ４５万円、約３４万円支給する。

2　特別奨学生推薦入試成績優秀者への入学金一部免除
特別奨学生推薦入試で優秀な成績を修めた者の一部に対し入学金を一部免除する。

3　楊志館高校生特別奨学生制度
楊志館高校を卒業し、現役で本校に入学する場合、入学金及び施設設備費を一部免除する。

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

【基本方針】本校が実施した自己評価結果を学校関係者評価委員が評価することで、 自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校運営や教育活動の課題について助言を得ることで、広い視点で改善を図ることを基本方針とする。
【構成】関連業界等関係者、卒業生、保護者、教育に関し知見を有する者、地域住民等の中から 2 名以上で構成する。
【評価項目】「専修学校における学校評価ガイドライン」に示された項目を基本として学校が自己評価をした結果を評価する。
【評価結果の活用】学校関係者評価結果を、学校長に報告し、学校長は教職員に報告し、改善策を検討する。また、理事会に報告を行い、ホームページ等で公表することとする。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
無 職	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日	元公立高校校長
大分市保育協会 会長	2020 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日	業界代表

学校関係者評価結果の公表方法

http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku/copy-490

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ） 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
http://www.gotogakuen.ac.jp/hoiku